

新人男子第73回・女子第35回  
西播高等学校駅伝競走大会開催に関するガイドライン、申し合わせ事項

【基本事項】

1. 沿道での応援については自粛を要請する。
2. 日々の健康管理と検温を実施し参加生徒の健康状態を各校顧問で把握すること。  
なお、大会開催前7日間および開催後14日間は所定の健康チェックシートに必要事項を記録し、必要に応じて提出することができるようにしておくこと。(各校で回収し保管)
3. 「3密」の回避  
※ソーシャルディスタンスの確保  
(1) スタート・フィニッシュ地点周辺及び中継所、各校待機場所、等
  - ・「ふれあい体育館」については各校選手のみ使用できる(男子7名+女子5名=最大12名)。最初の入館前に体温チェックを受けること。
  - ・他校の待機場所との距離を離すこと。
  - ・各校、各自で消毒液の準備を要請する。
  - ・使用場所周辺の清掃を行う。
  - ・スタート・ゴール・中継所付近に入場制限エリアを設置するので、指示に従うこと。(2) 近距離での会話や発声・高唱を避ける。  
(3) 十分な換気を行う。
4. 感染症対策  
(1) マスクの着用
  - ・選手はウォーミングアップや競技を行っているとき以外は必ずマスクを着用すること。マスクは出走直前まで着用しておくこと。
  - ・大会役員、競技役員、補助員、付添、報道関係者は常時マスクを着用しておくこと。(2) 手洗い、手指消毒の徹底
  - ・競技前、競技後の手洗い・手指消毒。
  - ・手指消毒用アルコール液の設置(体育館、スタート・ゴール・中継所地点、トイレ等)  
※競技役員・補助員は任務内容によりゴム手袋を着用する。(3) 「兵庫県コロナ追跡システム」への登録を要請する。  
(4) 「新型コロナウイルス感染症対策室」(以下、対策室という)の設置。  
(5) 感染者、濃厚接触者、感染の疑いがある者が出た場合の対応  
※当該チームは速やかに県高体連西播支部陸上競技部へ報告しなければならない。
  - ・対策室は関係機関と連携して対応にあたる。
5. 大会への参加について(選手、補助員、大会役員、競技役員、報道関係者)  
(1) 参加人数は、男子7区間+付添7名=14名、女子5区間+付添5名=10名までとする。  
(2) 参加生徒については、各校で本ガイドラインに同意し遵守することを確認のうえ、保護者の承諾を得ていること。  
(3) 参加校は所定の参加者名簿を大会本部へ提出すること。

(4) 選手、付添はADカード、大会役員、競技役員、補助員は腕章、報道関係者は腕章またはビブスをつけること。

※選手・付添いはADカードを常に首からかけておくこと（競技中は除く）。ADカードをかけていない場合退場を命じることがある。

※ADカードは各校でまとめて返却すること。

(5) 下記の①～③の場合は参加を認めない。

①体調がよくない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

②同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。

③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

(6) 新型コロナウイルス感染症に起因する事由によるエントリー変更を可能とするが、診断書、エントリー変更届の提出、監督会議での承認を必要とする。

6. 大会中止の判断基準について

(1) 緊急事態宣言が発令された場合。

(2) 兵庫県内や姫路市での感染状況を踏まえて主催者で協議する。

#### 【競技運営面での対策】

1. 給水を実施する場合は、感染防止対策に十分留意すること。
2. 速報記録及び正式結果は、Web掲載とする。
3. スタート・ゴール・中継所付近における入場制限エリアの設置。

#### 【その他の対策】

1. 開会式・閉会式は行わない。賞状や賞品については学校毎にふれあい体育館に置いておくので、受けとりに来ること。
2. 大会終了後は速やかに帰宅させる。
3. 会場清掃の簡素化  
**※ごみは各自・各校持ち帰りとする。**
4. 大会参加者、保護者、卒業生、地域住民等への周知  
・別紙「大会参加者、保護者、卒業生、地域住民の皆様へのお願い」をHPに掲載するとともに、周辺自治会への案内などを通じて周知する。  
**特に応援自粛については参加校顧問から保護者、卒業生への周知徹底を要請する。**
5. 競技役員・補助員の昼食は、大会本部で準備する。手洗い、手指消毒を行った上で昼食をとること。
6. 競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状が4日以上続いた場合には、最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医）等に相談後、必ず事務局（飾磨工業水田）まで報告する。